

体験活動参加型＋講演会型（幼稚園）

学校名等	大垣市立中川幼稚園
実施日時	令和元年5月15日(火)
会場	遊戯室、小学校正門前横断歩道及び歩道橋
参加人数	園児（33名）、保護者（32名）
学習課題（分野）	親子交通安全教室（交通安全）
運営者の願い	交通指導員を招いて親子で交通ルールについて学び、実地指導を行って道路の安全な渡り方や安全確認の仕方などを再確認できるように企画した。

学 習 の 内 容

親子交通安全教室

講師：大垣警察署 交通指導員

<講演会>

交通指導員の方に、クイズやDVDを交えながら交通ルールやマナーを守ることの大切さを教えていただきました。分かりやすい内容で、親子で交通ルールを再確認できました。



<実施指導>

実際に親子で横断歩道や歩道橋を歩き、渡り方や安全確認の仕方を学びました。交通指導員の方の話を聞いてすぐに実施指導を受けたことで、日頃、自動車や自転車で登園することが多い中、改めて交通ルールを守ることの大切さを実感しました。また、保護者は子どもの目線に立つことで子どもたちの視野を知り、車が来ることを認識して遠くの「右・左」を見ることの重要さに気がきました。

4歳児は保護者と一緒に横断歩道を渡り、「右よし、左よし、右よし、前方よし」と左右確認しながら渡ることを学びました。5歳児は横断歩道を渡った後、小学校の通学路にある歩道橋の渡り方について、指導していただきました。小学校就学に向けて、有意義な実施指導を受けることができました。

<保護者の感想>

- ◇子どもが右と左が分かっていないことや安全確認がうまくできていないことがよく分かり、家でもくり返し交通ルールを守れるように声を掛けていきたい。
- ◇交通事故のニュースをよく見るので、交通ルールの再確認や命の大切さを親子で学ぶことができてよかった。
- ◇子どもの目線に立って安全確認をする中で、子どもの視野を知ることができてよかった。家庭でしっかりと安全指導をしていきたい。
- ◇小学校就学までに登校の際に危険な場所や安全な歩き方について、子どもに伝えていきたいと実感した。

<今後への改善点>

- ・講演後に行う実施指導の大切さを実感し、雨天時のことを考えて予備日を設けていきたい。



地域の実態に応じた家庭教育学級

- ・中川幼稚園周辺は交通量が多く、また小学校併設の幼稚園であるため、交通ルールを守ることの大切さに気付く機会となった。親子共々、大きな学びとなった。



参加者増の工夫

- ・多くの保護者の方が参加できるように、登園後、フリー参観を行い、その後、親子交通安全教室を開講した。
- ・また、未就園児が遊べるスペースや玩具を用意し、小さい子がいる家庭でも、無理なく参加できるようにした。